

5 Arisa Higuchi

だから、友だちがすごく大好きです
いろいろな人と共有したい。
楽しいことを

樋口 亜莉沙 さん
新聞社デザイナー・漫画家(志望)



#少女漫画 #友情系 #mangaart
#延徳駅 #電車で音楽

profile

1995年生まれ。中野市新保在住。3歳から漫画調のお絵かきを始め、11歳で漫画家を志す。長野美術専門学校を卒業後、市内新聞社に就職。デザイナーとして勤務しながら、小中学生向け少女漫画雑誌に投稿を続ける。電車で出かけるのが好き。

延徳駅にて撮影。「電車や新幹線で旅するのが好きです。景色を見ながら音楽を聴いて、いろいろ考えるのが楽しいです」

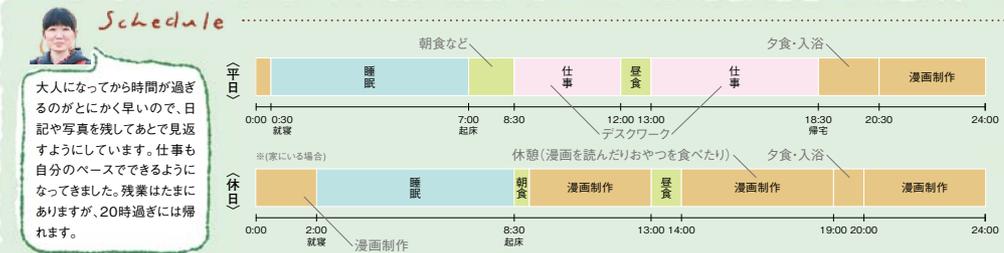
「あまりにもうれしくて、あとで泣いてしまいました」。2018年の年末、少女漫画雑誌のコンクール受賞者欄に長野県在住の作家名が掲載された。樋口亜莉沙さんだ。中野立志館高校を卒業後、専門学校のアートデザイン科に進学。現在は市内の新聞社で紙面レイアウトなどを担当しながら漫画を描き続けている。

初投稿は19歳のとき、親友とのエピソードを描いたものだった。「中」のとき、ぼっちだったんです。そんなとき、お弁当一緒に食べようって言ってくれた子が、いまでも親友です」。得意なジャンルは友情もの。友だち関係でいろいろ悩んだ気持ちは、楽しいことも嫌なことも含めて、人との距離感を漫画に描けることが、樋口さんの作品のオリジナリティーになっている。

漫画が掲載されるまでには、漫画雑誌の担当編集者にラフを見てもらい、OKがもらえるまで一編32ページを何度も描き直す。長い人は完成までに1年半かかることも。自分がいいと思ったも



左/延徳駅など、地元の風景が登場する作品
右/11歳のときに描き始め、いまだ未完成の作品も。いつか連載ものとして発表できたら、と思っている



大人になってから時間が過ぎるのがとにかく早いで、日記や写真を残してあとで見返すようにしています。仕事も自分のペースでするようになってきました。残業はたまにありますが、20時過ぎには帰れます。

4 Arisa Banba

「自分という器を最大限に生かし
人生をちゃんと楽しめたい人になりたい」

制作会社 営業
ばんば ありさ
番場 有彩 さん

#営業女子 #お酒好き #断捨離
#アウトドア #人と何か作りたい

profile

1992年生まれ。中野市新保在住。長野市の制作会社に入社後、社交的な性格が生かされる営業部へ配属。新聞広告やWebサイトなど、幅広い媒体を担当。お酒を飲みながら人と話す時間や家でだらだらする時間が一番の宝物。



「信州中野ハル ラブズ ピアット」にて撮影。「お酒が好きというか、お酒が好きな人が好き(笑)」。取材時も飲み友が来店したり、顔なじみの店主と会話弾んだり

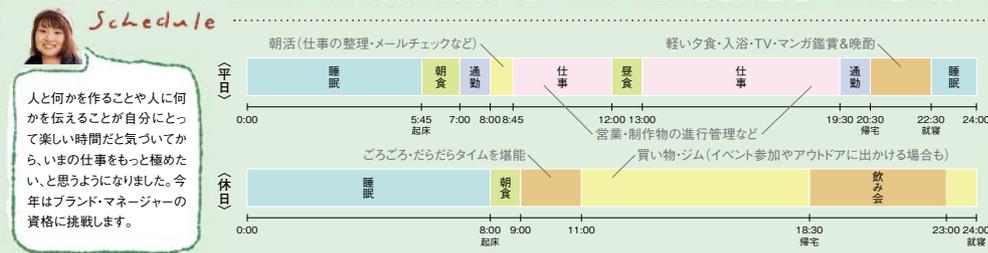
須坂高校を卒業後、茨城大学へ進学。県外に出て初めて「山がないと落ち着かない」と気づいたことがきっかけでUターンを考えた。長野市の制作会社に就職する際は、最初は自宅から通い、慣れたら市外で一人暮らしをしようか、と迷っていたものの、地域の日本酒や食を盛り上げる団体「sakefeti」に出会い、「いままでも知らなかっただけで、面白いことをしている人がたくさんいる」という地元の魅力に気づいた。

「自分にとって大切なのは、1番は人と飲んで楽しく話をしてる時間(笑)。2番は家でぼーっとして『無』になる時間。3番は自然の中で遊ぶ時間。子ども心を忘れない大人になりたいから、一年に一度は新しい遊びに挑戦しています。大好きなアウトドアスポーツが身近で体験できる、年齢に関係なく面白いと出会える。そんなこの街が好き。これからもここで暮らしていきたいと思っています」

意外だったのは、趣味が断捨離だということ。きっかけは自身も



左/sakefeti主催「うまいもん地酒 信州SOUL」でゲストバンド「指先ノハク」と
右/斑尾高原でチャレンジしたのは「秘密の林道&廃村ファットバイクツアー」



人と何かを作ることや人に何かを伝えることが自分にとって楽しい時間だと気づいてから、いまの仕事をもっと極めたい、と思うようになりました。今年度はブランド・マネージャーの資格に挑戦します。